

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅳ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期	教室名	センター他
担 当 教 員	向井小織・奥谷和哉・大西真・本多健・桑原知子	実務経験と その関連資格	向井:光明堂鍼灸院にて勤務、患者の診察・治療・治療補助・受付などの業務を行う			
《授業科目における学習内容》						
①診察・診療を見学して一連の方法について理解する。②実際に診察を行い、適切な病態把握の方法について修得する。③病態把握した内容について、治療目的および方法を計画する。④診療において教員の補助を行い、その施術内容を理解する。⑤見学、診察、補助を行った内容について適切に記録、報告する。⑥医療人としての職業的態度を修得する。						
《成績評価の方法と基準》						
評価の基準:全出席者のみ評価対象とし、センター実習で60%、カンファレンスで40%とする。 評価の方法:全ての提出部の提出(カルテの提出、カンファレンスの課題提出) センター実習中の態度、カンファレンスでの態度など総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
1年次・2年次に使用した全ての教科書・参考書 ※センター実習、カンファレンスにおいて自身に必要な参考図書を持参すること						
《授業外における学習方法》						
実際の患者さんを想定した医療面接・必要な徒手検査や中医学的診察方法を行い、病態把握をし、適切な治療計画を作成し、実施していく必要がある。そのためには1年次・2年次に学習した知識・技術の再構築と活用が必要となる。特に、センター実習、カンファレンスにおいて自身に不足していると感じた知識・技術は次回授業までに復習し、再習得をしておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
全出席者のみ評価対象とするため、欠席・遅刻はしないようにする。 医療人として必要なマナーや態度を常に心がける。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	臨床実習における注意事項を理解し、説明できる。 模擬カンファレンス実施後に現状の課題を述べられる。	実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーションにて附属治療所実習の概要を説明する 模擬カンファレンスにて症例検討をする			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	センター実習の一連の動線を確認し、治療準備と片づけができるようになる。	実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。	
		各コマにおける授業予定	センター実習の一連の動線の確認 治療準備と片付けについて理解する 教員が行う治療の見学をし、補助を行う			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	センター実習の一連の動線を確認し、治療準備と片づけができるようになる。	実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。	
		各コマにおける授業予定	センター実習の一連の動線の確認 治療準備と片付けについて理解する 教員が行う治療の見学をし、補助を行う			
第4回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	自身が見学した患者について、病態把握の理由、施術部位・方法の理由を説明できる。	実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。	
		各コマにおける授業予定	第2回・第3回で見学した患者について症例報告			
第5回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	自身が見学した患者について、病態把握の理由、施術部位・方法の理由を説明できる。	実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。	
		各コマにおける授業予定	第2回・第3回で見学した患者について症例報告			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	センター実習の一連の動線を確認し、治療準備と片づけができるようになる	実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。
		各コマにおける授業予定	センター実習の一連の動線の確認 治療準備と片付けについて理解する 教員が行う治療の見学をし、補助を行う		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	センター実習の一連の動線を確認し、治療準備と片づけができるようになる	実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。
		各コマにおける授業予定	センター実習の一連の動線の確認 治療準備と片付けについて理解する 教員が行う治療の見学をし、補助を行う		
第8回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	自身が見学した患者について、病態把握の理由、施術部位・方法の理由を説明できる。	実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。
		各コマにおける授業予定	第6回・第7回で見学した患者について症例報告		
第9回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	自身が見学した患者について、病態把握の理由、施術部位・方法の理由を説明できる。	実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。
		各コマにおける授業予定	第6回・第7回で見学した患者について症例報告		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	実際の患者さんを想定した医療面接・必要な徒手検査や中医学的診察方法を行えるようになる	実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。
		各コマにおける授業予定	医療面接により、主訴・症状・病位の確認、症状の頻度・持続・程度、随伴症状などについて確認する 症状に応じて必要な徒手検査や中医学的診察方を行う		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	実際の患者さんを想定した医療面接・必要な徒手検査や中医学的診察方法を行えるようになる	実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。
		各コマにおける授業予定	医療面接により、主訴・症状・病位の確認、症状の頻度・持続・程度、随伴症状などについて確認する 症状に応じて必要な徒手検査や中医学的診察方を行う		
第12回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	自身が診察した患者の状態、治療方法の理由について説明できる。他者の報告について疑問を述べられる。	実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。
		各コマにおける授業予定	第10回・第11回で診察・見学した患者について症例報告		
第13回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	自身が診察した患者の状態、治療方法の理由について説明できる。他者の報告について疑問を述べられる。	実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。
		各コマにおける授業予定	第10回・第11回で診察・見学した患者について症例報告		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	実際の患者さんを想定した医療面接・必要な徒手検査や中医学的診察方法を行えるようになる	実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。
		各コマにおける授業予定	医療面接により、主訴・症状・病位の確認、症状の頻度・持続・程度、随伴症状などについて確認する 症状に応じて必要な徒手検査や中医学的診察方を行う		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	実際の患者さんを想定した医療面接・必要な徒手検査や中医学的診察方法を行えるようになる	実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。
		各コマにおける授業予定	医療面接により、主訴・症状・病位の確認、症状の頻度・持続・程度、随伴症状などについて確認する 症状に応じて必要な徒手検査や中医学的診察方を行う		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	演習実習形式 授業を通じての到達目標	自身が診察した患者の状態、治療方法の理由について説明できる。他者の報告について疑問を述べられる。		実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。
	各コマにおける授業予定	第14回・第15回で診察・見学した患者について症例報告			
第17回	演習実習形式 授業を通じての到達目標	自身が診察した患者の状態、治療方法の理由について説明できる。他者の報告について疑問を述べられる。		実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。
	各コマにおける授業予定	第14回・第15回で診察・見学した患者について症例報告			
第18回	実習形式 授業を通じての到達目標	現代的・中医学的な病能把握をし、適切な治療を組み立てられる		実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。
	各コマにおける授業予定	医療面接・検査から得られた情報・所見から現代的・中医学的病能把握を行い、適切な治療を組み立てていく			
第19回	実習形式 授業を通じての到達目標	現代的・中医学的な病能把握をし、適切な治療を組み立てられる		実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。
	各コマにおける授業予定	医療面接・検査から得られた情報・所見から現代的・中医学的病能把握を行い、適切な治療を組み立てていく			
第20回	演習実習形式 授業を通じての到達目標	自身が診察した患者について状態から施術評価まで説明できる。他者の報告について疑問を述べられる。		実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。
	各コマにおける授業予定	第18回・第19回で診察した患者について症例報告			
第21回	演習実習形式 授業を通じての到達目標	自身が診察した患者について状態から施術評価まで説明できる。他者の報告について疑問を述べられる。		実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。
	各コマにおける授業予定	第18回・第19回で診察した患者について症例報告			
第22回	実習形式 授業を通じての到達目標	自分一人で患者さんを診察し、病態把握を行い治療を組み立てられる		実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。
	各コマにおける授業予定	臨床実習の振り返り			
第23回	演習実習形式 授業を通じての到達目標	自分一人で患者さんを診察し、病態把握を行い治療を組み立てられる		実習書 実習マニュアル 参考図書	1年次・2年次の授業の復習、特に前回の授業で不足していると感じた知識・技術の復習。
	各コマにおける授業予定	臨床実習の総括・まとめ			
第24回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第25回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 26 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 27 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 28 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 29 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 30 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 31 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 32 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 33 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 34 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 35 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			